

第2分科会

資質・能力を育成する授業づくり ～「教科」「生活」の枠を超えて、 これからの知的障害教育を考える～

企画趣旨

これまでの知的障害教育は、「実際の生活に生かせる、本物の生活」という視点を踏まえ、各教科等を合わせた指導の形態を教育課程の中心に位置付け、指導をしてきた。まさに、学習指導要領で指摘されている「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す上で、重要な要素を含んだ指導形態であると言える。しかし、教科別指導を重視する立場からは、「活動あって学びなし」といわれるように、教科の位置付けが弱いという指摘もある。各教科等を合わせた指導の魅力は理解していながらも、授業づくりにおいて具体的にどのように進めていくのか、悩んでいる学校も多いのではないだろうか。

そこで、本分科会では、各教科等を合わせた指導を中心に、これからの子供たちの学びのあり方について、教科と生活の枠を超えて議論していく。

内容

タイムテーブル

タイムテーブル	
10:20 ~ 10:25	企画趣旨説明
10:25 ~ 10:45	話題提供① 群馬大学共同教育学部附属特別支援学校の実践
10:45 ~ 11:05	話題提供② 千葉大学教育学部附属特別支援学校の実践
11:05 ~ 11:25	指定討論者より
11:25 ~ 11:50	意見交換・まとめ

企画・司会者	加茂 聡(本校研究部)・香野 毅(静岡大学教育学部)		
話題提供者	①	群馬大学共同教育学部附属特別支援学校 研究主任	橋本 和也
	②	千葉大学教育学部附属特別支援学校 研究主任	菅原 宏樹
指定討論	植草学園短期大学	教授	佐藤 慎二